

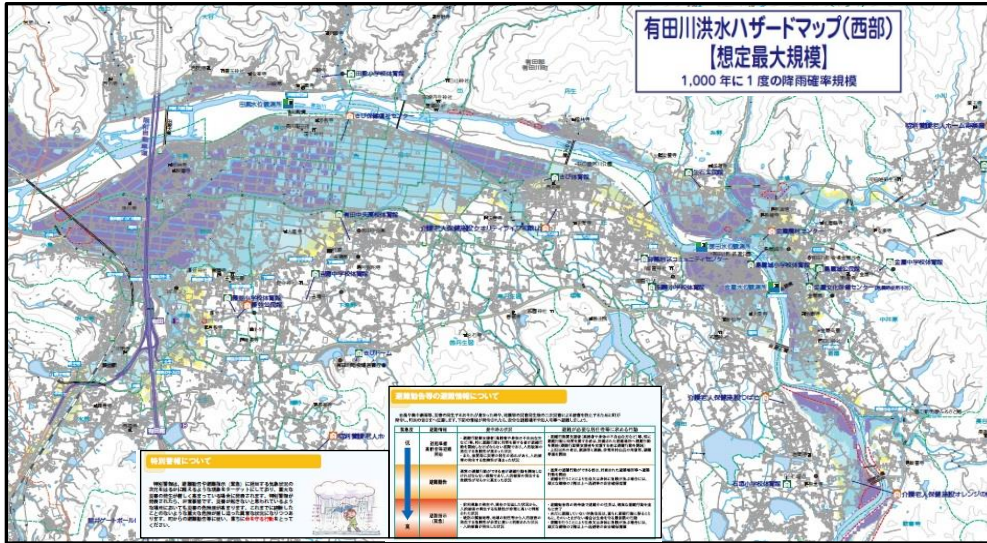
取組内容

- ①情報伝達、避難計画等に関する事項
 - ◆想定される浸水リスクの周知 ◆住民等への情報伝達体制や方法について
 - ◆避難誘導體制について ◆防災に関する啓発活動について
- ②水防に関する事項
 - ◆河川水位等の情報提供について ◆水防訓練の実施

平成30年度
の取組

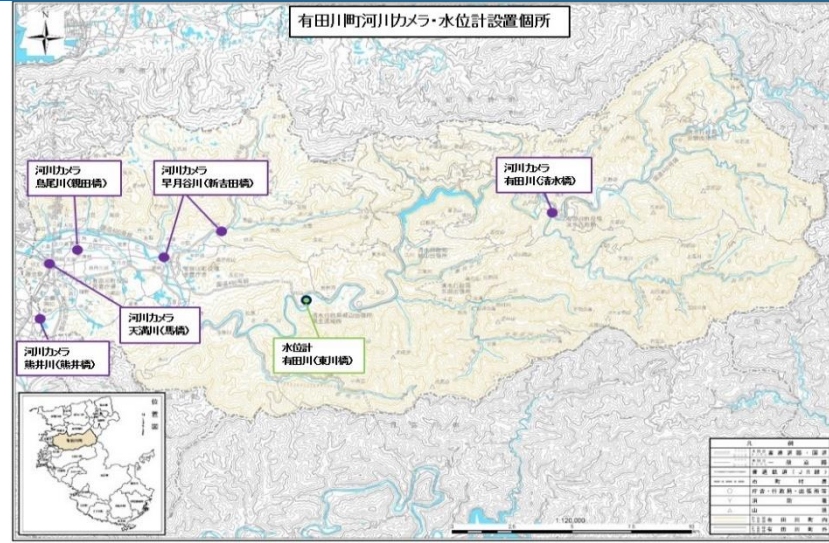
- 想定最大規模の洪水ハザードマップの作成・周知
- 防災行政無線デジタル化改修事業(平成29年度～令和2年度)
- 避難行動要支援者の参加する避難訓練の実施
- 避難対策ワークショップの実施
- 出前講座等の実施
- 水位計・水位カメラの整備(平成29年度～令和2年度)
- 水防訓練の実施

想定最大規模の洪水ハザードマップの作成・周知



平成31年2月12日に県が公表した有田川浸水想定区域図(想定最大規模)を基に、平成31年3月18日に、有田川洪水ハザードマップ【想定最大規模】を作成。

水位等周知(カメラ・水位計)設置計画(継続事業)



町内6カ所に河川カメラ、1カ所に水位計を設置計画
※防災行政無線デジタル化改修事業の一環で
令和2年度までの継続事業

避難対策ワークショップの実施

平成31年2月16日に避難対策ワークショップを実施。
地区の避難マップの作成や避難行動要支援者支援について検討を行った。



洪水避難訓練・出前講座の実施

平成30年7月22日に川口地区・岩野河地区を対象に避難行動要支援者支援も含んだ洪水避難訓練を実施した。
河川課及び町による防災講座も併せて実施。

